

令和3年度宅地建物取引士資格試験の結果について

試験部

はじめに

本稿においては、令和3年度に実施した宅地建物取引士資格試験（以下「宅建試験」という。）について、申込者、受験者及び合格者ごとに、最近10年間の年度別・ブロック別・男女別・年代別・職業別の内訳、職業別・男女別平均年齢について、それぞれデータに基づき説明しています。

続いて、登録講習修了者、18歳未満、65歳以上、世代別及び受付区分別の状況について、それぞれ記述しています。

ご存じのとおり、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、試験会場の確保が困難な状況下であったことから、令和2年度と同様に、一部の都道府県において、宅建試験を10月と12月に分割して実施いたしました。本稿では、この2回の試験をあわせて、今年度の宅建試験として記述することとします。

なお、本稿の末尾に、宅建試験実施結果の概要・総括表・内訳の表を付しています。

I 申込者

1 概要

令和3年度は、郵送受付を7月1日（木）から7月30日（金）まで、インターネット受付については7月1日（木）から7月18日（日）までの間に行いました。

申込者は、296,518人（一般受験者241,502人、

登録講習修了者55,016人）で、令和2年度比では37,234人（14.4%）と大きく増加しました。これを一般受験者と登録講習修了者別にみると、一般受験者は34,159人、登録講習修了者は3,075人の増加となっています（表1－①）。

なお、受付区分ごとの申込者数は、郵送受付175,580人（前年度比950人増）、インターネット受付120,938人（同36,284人増）となっています。このうち、インターネット受付については、導入年度である平成17年度（利用率10.2%）以来、その利用率は平成28年度を除き毎年増加しており、令和3年度は40.8%となり、前年度の32.6%に比べ8.2ポイント増加しました。（89頁令和3年度宅地建物取引士資格試験実施結果概要）

表1－① 申込者・年度別

年度	当該年度	（前年度）	前年度比		一般	登録講習
平成24年度	236,350	231,596	4,754	2.1%	196,206	40,144
平成25年度	234,586	236,350	▲1,764	▲0.7%	192,704	41,882
平成26年度	238,343	234,586	3,757	1.6%	193,508	44,835
平成27年度	243,199	238,343	4,856	2.0%	196,732	46,467
平成28年度	245,742	243,199	2,543	1.0%	196,358	49,384
平成29年度	258,511	245,742	12,769	5.2%	205,484	53,027
平成30年度	265,444	258,511	6,933	2.7%	209,129	56,315
令和元年度	276,019	265,444	10,575	4.0%	217,914	58,105
令和2年度	259,284	276,019	▲16,735	▲6.1%	207,343	51,941
令和3年度	296,518	259,284	37,234	14.4%	241,502	55,016

2 申込者の状況

（1）ブロック別

申込者について、ブロック別にみると、全てのブロックで増加しました。

なお、ブロック別の構成比は、例年どおり一都三県が最も多く、全体の42.7%を占めています（表1-②）。

表1-② 申込者・ブロック別

地域	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比
北海道・東北	21,073	18,614	2,459	13.2%	7.1%
北関東・甲信越	16,451	14,280	2,171	15.2%	5.5%
一都三県	126,558	111,559	14,999	13.4%	42.7%
北陸・東海	31,778	27,653	4,125	14.9%	10.7%
近畿	52,360	45,072	7,288	16.2%	17.7%
中国・四国	17,491	15,412	2,079	13.5%	5.9%
九州・沖縄	30,807	26,694	4,113	15.4%	10.4%
【計】	296,518	259,284	37,234	14.4%	—

次に、都道府県別にみると、絶対数ではやはり都市部の申込者が多く、最も多い東京が6.3万人弱、次いで神奈川、大阪が2.7万人弱、続いて、埼玉、千葉、愛知、福岡、兵庫が1万人台となっています。

増減の状況をみると、いずれの都道府県も増加となりました。

増加率が20%を超えているのは、京都22.5%、長野22.3%、秋田22.2%、山口21.7%、愛媛20.2%の5府県となっており、一方、増加率が1桁台にとどまったのは、徳島0.8%、高知3.9%、鳥取5.9%、福島6.1%、富山6.8%、群馬8.6%、鹿児島9.0%、山形9.4%、島根9.7%、福井9.9%の10県となっています（90頁令和3年度宅地建物取引士資格試験実施結果【総括表】（以下「総括表」という。））。

(2) 男女別

男女別では、男性が196,291人で前年度比19,808人（11.2%）の増加、女性が100,227人で前年度比17,426人（21.0%）の増加となっています（表1-③）。

表1-③ 申込者・男女別

性別	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比
男	196,291	176,483	19,808	11.2%	66.2%
女	100,227	82,801	17,426	21.0%	33.8%
【計】	296,518	259,284	37,234	14.4%	—

(3) 年代別

年代別にみると、20歳未満が6,455人（前年度比1,616人増）、20代が101,686人（同12,002人増）、30代が73,920人（同8,386人増）、40代が60,269人（同6,378人増）、50代が40,805人（同6,809人増）、60歳以上が13,383人（同2,043人増）と、全ての年代で増加しました。

全体の申込者について、前年度から3万7千人を超える増加の中、申込者数の年代別構成比は、前年度と大きく異なっていないところです。

なお、全体に占める割合は、従前は全体の70%強を占めていた20代・30代が、平成20年度から70%を割り込むようになり、令和3年度も59.2%（20代34.3%、30代24.9%）と、令和に入ってから、3年度連続で60%割れとなっています（表1-④）。

表1-④ 申込者・年代別

年代	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比
20歳未満	6,455	4,839	1,616	33.4%	2.2%
20代	101,686	89,684	12,002	13.4%	34.3%
30代	73,920	65,534	8,386	12.8%	24.9%
40代	60,269	53,891	6,378	11.8%	20.3%
50代	40,805	33,996	6,809	20.0%	13.8%
60歳以上	13,383	11,340	2,043	18.0%	4.5%
【計】	296,518	259,284	37,234	14.4%	—

(4) 職業別

職業別の申込者数は、最も多いのが不動産業の91,939人（前年度比4,640人増）、次いで他業種68,682人（同12,050人増）、建設業42,576人（同4,053人増）、学生32,466人（同5,912人増）、金融業31,944人（同4,760人増）、その

他19,748人（同3,335人増）、主婦9,163人（同2,484人増）の順で続いています。

増減の状況をみると、全ての職業で増加する中、前年度と同様、主婦の増加率が特に大きいことが特徴となっています。また、学生の増加数、増加率も大きく、金融業の人数を上回りました（表1-⑤）。

職業別の平均年齢は、最も高いのが主婦の43.5歳、次いでその他の42.1歳、以下、他業種40.8歳、建設業39.9歳、金融業38.7歳、不動産業35.2歳、学生21.0歳となっており、例年どおりの順となっています（表1-⑥）。

また、申込者全体の平均年齢は36.6歳（前年度36.6歳）で、男性は37.3歳（同37.2歳）、女性は35.5歳（同35.2歳）となり、男女ともに過去最も高かった令和元年度、2年度とほぼ同じとなっています（表1-⑦）。

表1-⑤ 申込者・職業別

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比
不動産業	91,939	87,299	4,640	5.3%	31.0%
金融業	31,944	27,184	4,760	17.5%	10.8%
建設業	42,576	38,523	4,053	10.5%	14.4%
他業種	68,682	56,632	12,050	21.3%	23.2%
学生	32,466	26,554	5,912	22.3%	10.9%
主婦	9,163	6,679	2,484	37.2%	3.1%
その他	19,748	16,413	3,335	20.3%	6.7%
【計】	296,518	259,284	37,234	14.4%	—

表1-⑥ 申込者・職業別平均年齢

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比
不動産業	35.2	34.9	0.3
金融業	38.7	38.4	0.3
建設業	39.9	39.6	0.3
他業種	40.8	41.0	▲0.2
学生	21.0	21.2	▲0.2
主婦	43.5	43.2	0.3
その他	42.1	42.2	▲0.1
【全業種平均】	36.6	36.6	0.0

表1-⑦ 男女別平均年齢

性別	平均年齢
男	37.3
女	35.5
全体	36.6

Ⅱ 受験者

1 概要

令和3年度の宅建試験は、10月17日（日）に全国47都道府県の238会場、12月19日（日）に8都道府県の30会場で実施しました。

申込者296,518人のうち、61,804人が欠席し、受験者は234,714人で令和2年度比30,464人（14.9%）の増となっています（表2-①）。

受験率は79.2%で、令和2年度の78.8%に比べ、令和3年度は0.4ポイント上昇しましたが、前年度に続き80%を割り込むこととなりました。

表2-① 受験者・年度別

年度	当該年度	(前年度)	前年度比		一般	登録講習
平成24年度	191,169	188,572	2,597	1.4%	155,393	35,776
平成25年度	186,304	191,169	▲4,865	▲2.5%	149,239	37,065
平成26年度	192,029	186,304	5,725	3.1%	151,802	40,227
平成27年度	194,926	192,029	2,897	1.5%	153,210	41,716
平成28年度	198,463	194,926	3,537	1.8%	154,340	44,123
平成29年度	209,354	198,463	10,891	5.5%	161,867	47,487
平成30年度	213,993	209,354	4,639	2.2%	163,578	50,415
令和元年度	220,797	213,993	6,804	3.2%	169,126	51,671
令和2年度	204,250	220,797	▲16,547	▲7.5%	158,123	46,127
令和3年度	234,714	204,250	30,464	14.9%	185,833	48,881

2 受験者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の受験率をみると、一都三県では80%を下回り、77.3%となりましたが、令和2年度の76.9%に比べ、令和3年度は0.4ポイント上昇しており、近畿では80.2%と、令和2年度の78.8%から80%を超える水準に戻りました（表2-②）。

表2-② 受験者・ブロック別

地 域	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比	受験率
北海道・東北	17,027	15,082	1,945	12.9%	7.3%	80.8%
北関東・甲信越	13,325	11,545	1,780	15.4%	5.7%	81.0%
一都三県	97,775	85,754	12,021	14.0%	41.7%	77.3%
北陸・東海	25,586	22,389	3,197	14.3%	10.9%	80.5%
近 畿	42,016	35,505	6,511	18.3%	17.9%	80.2%
中国・四国	14,022	12,516	1,506	12.0%	6.0%	80.2%
九州・沖縄	24,963	21,459	3,504	16.3%	10.6%	81.0%
【計】	234,714	204,250	30,464	14.9%	—	79.2%

なお、都道府県別の受験率をみると、上位は、青森と長野が82.8%、長崎82.6%、和歌山82.5%、群馬82.3%、福井82.2%、下位は、東京75.5%、千葉77.1%、佐賀78.1%、埼玉78.6%、秋田78.7%の順となっています（総括表）。

(2) 男女別

男性の受験者は154,699人で、前年度比では16,508人（11.9%）増加し、一方、女性の受験者は80,015人で、同13,956人（21.1%）の増加となっています。

受験率をみると、男性78.8%、女性79.8%と、例年どおり女性の方が高くなっています（表2-③）。

表2-③ 受験者・男女別

性別	令和3年度	令和2年度	令和2年度比	構成比	受験率	
男	154,699	138,191	16,508	11.9%	65.9%	78.8%
女	80,015	66,059	13,956	21.1%	34.1%	79.8%
【計】	234,714	204,250	30,464	14.9%	—	79.2%

(3) 年代別

受験者を年代別にみると、20代・30代の割合が全体の59.3%（20代が81,463人・34.7%、30代が57,836人・24.6%）と、例年どおり大勢を占めておりますが、昨年度（60.1%）とは異なり、60%を割り込みました。前年度比でみると、構成比は小さいものの20歳未満（32.6%増）が大きく増加したほか、50代（20.9%増）、60歳以上（18.2%増）など、全ての年代で10%以上の増加となっています。

受験率については、30代、40代及び50代が80.0%を下回った一方で、20歳未満が84.8%と高い受験率となっています（表2-④）。

表2-④ 受験者・年代別

年代	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比	受験率
20歳未満	5,475	4,130	1,345	32.6%	2.3%	84.8%
20代	81,463	71,659	9,804	13.7%	34.7%	80.1%
30代	57,836	51,085	6,751	13.2%	24.6%	78.2%
40代	46,993	41,656	5,337	12.8%	20.0%	78.0%
50代	32,144	26,581	5,563	20.9%	13.7%	78.8%
60歳以上	10,803	9,139	1,664	18.2%	4.6%	80.7%
【計】	234,714	204,250	30,464	14.9%	—	79.2%

(4) 職業別

受験者を職業別にみると、最も多いのが不動産業の76,492人、次いで他業種52,600人、建設業31,764人、学生27,088人、金融業24,283人、その他15,164人、主婦7,323人の順となっています。

増減の状況をみると、全ての職業で増加しており、特に、主婦（前年度比2,036人、38.5%増）が大きく増加しています。

職業別の構成比をみると、不動産業は32.6%と前年度比2.8ポイント減となり、金融業は同0.2ポイント増の10.3%となり、3年連続で10%を超えました。

受験率は、学生（83.4%）、不動産業（83.2%）が80%台を確保し、他の5職種は80%を切っています（表2-⑤）。

受験者の職業別の平均年齢をみると、高い順に、主婦43.5歳、その他42.3歳、他業種41.1歳、建設業39.9歳、金融業39.0歳、不動産業35.0歳、学生21.0歳となっており、順位、平均年齢とも例年とほぼ変わりはありません（表2-⑥）。

また、受験者全体の平均年齢は36.5歳（前年度36.5歳）で、前年度と同じです。一方、男女別では、男性は37.2歳（同37.1歳）、女性は35.3歳（同35.0歳）となっており、男性は昨年度よりわずかながら上昇し、過去最も高

い水準となっています（表2－⑦）。

表2－⑤ 受験者・職業別

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比	受験率
不動産業	76,492	72,280	4,212	5.8%	32.6%	83.2%
金融業	24,283	20,723	3,560	17.2%	10.3%	76.0%
建設業	31,764	28,653	3,111	10.9%	13.5%	74.6%
他業種	52,600	42,762	9,838	23.0%	22.4%	76.6%
学生	27,088	22,019	5,069	23.0%	11.5%	83.4%
主婦	7,323	5,287	2,036	38.5%	3.1%	79.9%
その他	15,164	12,526	2,638	21.1%	6.5%	76.8%
【計】	234,714	204,250	30,464	14.9%	—	79.2%

表2－⑥ 受験者・職業別平均年齢

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比
不動産業	35.0	34.8	0.2
金融業	39.0	38.6	0.4
建設業	39.9	39.7	0.2
他業種	41.1	41.4	▲0.3
学生	21.0	21.0	0.0
主婦	43.5	43.4	0.1
その他	42.3	42.7	▲0.4
【全業種平均】	36.5	36.5	0.0

表2－⑦ 男女別平均年齢

性別	平均年齢
男	37.2
女	35.3
全体	36.5

Ⅲ 合格者

1 概要

令和3年度の合格発表は、12月1日（水）と令和4年2月9日（水）に行いました。合格発表に当たっては、都道府県ごとの掲示及び機構ホームページへの掲載を行いました。

令和3年度の合格者総数は41,471人（一般受験者31,044人、登録講習修了者10,427人）で、前年度に比べて7,133人（20.8%）の増加となっています（表3－①）。

なお、今年度の試験における全問正解者は一般受験者、登録講習修了者ともにいませんでした。

表3－① 合格者・年度別

年度	当該年度	(前年度)	前年度比		一般	登録講習
平成24年度	32,000	30,391	1,609	5.3%	23,900	8,100
平成25年度	28,470	32,000	▲3,530	▲11.0%	20,674	7,796
平成26年度	33,670	28,470	5,200	18.3%	23,660	10,010
平成27年度	30,028	33,670	▲3,642	▲10.8%	21,590	8,438
平成28年度	30,589	30,028	561	1.9%	21,768	8,821
平成29年度	32,644	30,589	2,055	6.7%	23,180	9,464
平成30年度	33,360	32,644	716	2.2%	22,996	10,364
令和元年度	37,481	33,360	4,121	12.4%	25,643	11,838
令和2年度	34,338	37,481	▲3,143	▲8.4%	25,368	8,970
令和3年度	41,471	34,338	7,133	20.8%	31,044	10,427

2 合格者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の合格者をみると、一都三県が19,209人（合格率19.6%）と、人数・合格率共に最も多く、この状況は例年と変わりありません（表3－②）。

表3－② 合格者・ブロック別

地域	令和3年度	令和2年度	令和2年度比		構成比	合格率
北海道・東北	2,532	2,116	416	19.7%	6.1%	14.9%
北関東・甲信越	2,008	1,777	231	13.0%	4.8%	15.1%
一都三県	19,209	15,860	3,349	21.1%	46.3%	19.6%
北陸・東海	4,427	3,553	874	24.6%	10.7%	17.3%
近畿	7,325	6,060	1,265	20.9%	17.7%	17.4%
中国・四国	2,320	1,983	337	17.0%	5.6%	16.5%
九州・沖縄	3,650	2,989	661	22.1%	8.8%	14.6%
【計】	41,471	34,338	7,133	20.8%	—	17.7%

なお、都道府県別の合格率をみると、高いのは、東京21.3%、鳥取20.9%、千葉20.1%、福井19.6%、滋賀18.8%、低いのは、徳島10.5%、沖縄12.5%、山梨12.6%、鹿児島13.0%、島根13.1%、となっています（総括表）。

(2) 男女別

男女別の合格者をみると、男性が26,369人で前年度比4,318人（19.6%）増、女性が15,102人で同2,815人（22.9%）増となってい

ます。

一方、男性の合格率は17.0%、女性の合格率は18.9%と、前年度に比べ、男性は1.0ポイント上昇し、女性は0.3ポイント上昇しました。女性の合格率が男性を上回るのは例年どおりです。

また、合格者の構成比は男性63.6%、女性36.4%となり、女性が30%を超えるのは9年連続で、過去最高の高さとなっています（表3-③）。

表3-③ 合格者・男女別

性別	令和3年度	令和2年度	令和2年度比	構成比	合格率
男	26,369	22,051	4,318	19.6%	63.6%
女	15,102	12,287	2,815	22.9%	36.4%
【計】	41,471	34,338	7,133	20.8%	—

(3) 年代別

合格者を年代別にみると、合格者数は20代16,194人（構成比39.0%）、30代10,996人（同26.5%）、40代7,838人（同18.9%）の順となっています。平成25年度から9年連続して20代の合格者数が最も多い結果となっています。

また、年代別の合格率をみると、20代（19.9%）、30代（19.0%）が高く、他の世代は17%未満となっています（表3-④）。

表3-④ 合格者・年代別

年代	令和3年度	令和2年度	令和2年度比	構成比	合格率
20歳未満	681	558	123	22.0%	1.6%
20代	16,194	13,824	2,370	17.1%	39.0%
30代	10,996	9,035	1,961	21.7%	26.5%
40代	7,838	6,398	1,440	22.5%	18.9%
50代	4,524	3,524	1,000	28.4%	10.9%
60歳以上	1,238	999	239	23.9%	3.0%
【計】	41,471	34,338	7,133	20.8%	—

(4) 職業別

職業別の合格者数は、最も多いのが不動産業の12,953人（構成比31.2%）、次いで他業種10,088人（同24.3%）、学生5,439人（同13.1%）、金融業4,742人（同11.4%）、建設業3,808人（同9.2%）、その他2,892人（同7.0%）、主婦1,549

人（同3.7%）の順となっています。

増減の状況をみると、全ての職種で前年度を上回っていました。

構成比を見ると、金融業はほぼ同じ、他業種、その他、主婦は増加し、不動産業、学生、建設業は減少しました。

職業別の合格率は、主婦の21.2%が最も高く、次いで学生20.1%、金融業19.5%、他業種19.2%、その他19.1%、不動産業16.9%、建設業12.0%の順となっています。

令和3年度は、主婦の合格率が11年連続して最も高かったことと、学生が前年度に続き2番目の合格率になったことが特徴となっています（表3-⑤）。

表3-⑤ 合格者・職業別

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比	構成比	合格率
不動産業	12,953	11,351	1,602	14.1%	31.2%
金融業	4,742	3,907	835	21.4%	11.4%
建設業	3,808	3,252	556	17.1%	9.2%
他業種	10,088	7,773	2,315	29.8%	24.3%
学生	5,439	4,682	757	16.2%	13.1%
主婦	1,549	1,161	388	33.4%	3.7%
その他	2,892	2,212	680	30.7%	7.0%
【計】	41,471	34,338	7,133	20.8%	—

合格者の職業別の平均年齢は、主婦が41.0歳と最も高く、次いでその他が40.0歳、他業種39.4歳、建設業37.8歳、金融業37.4歳、不動産業33.8歳、学生21.3歳の順で、主婦、その他、他業種が例年どおり高くなっています（表3-⑥）。

合格者の平均年齢は35.0歳と、申込者の36.6歳及び受験者の36.5歳より低くなっており、この傾向も例年と違いはありません。

なお、男女別の平均年齢は、男性35.5歳、女性34.1歳となっており、男性は前年度より0.1歳、女性は前年度より0.7歳それぞれ上昇しました（表3-⑦）。

表3-⑥ 合格者・職業別平均年齢

職業	令和3年度	令和2年度	令和2年度比
不動産業	33.8	33.4	0.4
金融業	37.4	37.0	0.4
建設業	37.8	37.8	0.0
他業種	39.4	39.6	▲0.2
学生	21.3	21.3	0.0
主婦	41.0	40.6	0.4
その他	40.0	40.5	▲0.5
【全業種平均】	35.0	34.7	0.3

表3-⑦ 男女別平均年齢

性別	平均年齢
男	35.5
女	34.1
全体	35.0

Ⅳ 登録講習修了者の状況

令和3年度の登録講習修了者の状況をみると、申込者55,016人（前年度51,941人）、受験者48,881人（同46,127人）となっています。申込者・受験者ともに、前年度に比して、今年度は大きく増加しました。

また、申込者が全体に占める割合は、前年度の20.0%から令和3年度は18.6%と1.4ポイント減少しています。

登録講習修了者の受験率をみると、88.8%（前年度88.8%）と前年度と同じとなっています。

一方、合格者については、10,427人（全体の合格者41,471人、構成比25.1%）と、前年度の8,970人（全体の合格者34,338人、構成比26.1%）から1,457人の増加となっています。

また、合格率は前年度の19.4%に比べ、令和3年度は21.3%と1.9ポイント上昇しています（表4）。

表4 登録講習修了者

性別	申込者	令和2年度	受験者	受験率	合格者	合格率
男	35,261	34,143	31,202	88.5%	6,180	19.8%
女	19,755	17,798	17,679	89.5%	4,247	24.0%
【計】	55,016	51,941	48,881	88.8%	10,427	21.3%
全体に占める割合	18.6%	20.0%	20.8%	—	25.1%	—

V 18歳未満、65歳以上及び世代別等の状況

1 18歳未満

申込者466人（前年度369人）、受験者392人（同319人）、合格者20人（同21人）、合格率5.1%（同6.6%）となっており、申込者及び受験者は過去最も多い人数となっています。（表5-①）。

男性の最年少の合格者は13歳（茨城）でありましたが、女性は12歳（愛知）となり、これまでの女性の最年少合格記録（平成12年度・神奈川）を更新しました（表5-②）。

表5-① 18歳未満

年齢	申込者	令和2年度	受験者	受験率	合格者	合格率
18歳未満	466	369	392	84.1%	20	5.1%

表5-② 最年少合格者

性別	年齢	都道府県	従来の記録 （年度・都道府県）
男	13	茨城	12（平成26・愛知）
女	12	愛知	14（平成12・神奈川）

2 65歳以上

申込者5,688人（前年度4,878人）、受験者4,584人（同3,955人）、合格者450人（同352人）となっています。

合格率は9.8%（同8.9%）と、0.9ポイント上昇しています（表5-③）。

男性の最年長の合格者は、81歳（青森）で、女性は75歳（東京）となっています。

なお、これまでの最年長合格記録は、男性は90歳（平成17年度・東京）で、女性は80歳（平成5年度・東京）となっています（表5-④）。

表5-③ 65歳以上

区分	申込者	令和2年度	受験者	受験率	合格者	合格率
65歳以上	5,688	4,878	4,584	80.6%	450	9.8%

表5-④ 最年長合格者

性別	年齢（都道府県）	従来の記録（年度・都道府県）
男	81 青森	90（平成17・東京）
女	75 東京	80（平成5・東京）

3 世代別

申込者、受験者及び合格者とも、平成29年度以降3年連続で昭和生まれが6割以上を占めていましたが、前年度からは昭和生まれの申込者、受験者、合格者の構成比が60%を割り込みました。

また、大正生まれは、2年連続して申込者が0人となっている一方、平成生まれの合格者は、一貫して増加しており、昨年度の16,249人から20,453人に増えて、合格者全体の49.3%を占めています（表5-⑤）。

表5-⑤ 世代別

区分	申込者	令和2年度	受験者	受験率	合格者	合格率
昭和生まれ	113,091	106,496	88,348	78.1%	13,667	15.5%
	52,714	45,026	41,756	79.2%	7,351	17.6%
	165,805	151,522	130,104	78.5%	21,018	16.2%
平成生まれ	83,200	69,987	66,351	79.7%	12,702	19.1%
	47,513	37,775	38,259	80.5%	7,751	20.3%
	130,713	107,762	104,610	80.0%	20,453	19.6%
【計】	196,291	176,483	154,699	78.8%	26,369	17.0%
	100,227	82,801	80,015	79.8%	15,102	18.9%
	296,518	259,284	234,714	79.2%	41,471	17.7%

※注:各世代の上段は男性、中段は女性の数値である。

4 受付区分別

インターネット受付の申込者は、平成17年度の導入以来、毎年郵送受付の申込者より合

格率が高い傾向がありますが、令和3年度は6.6ポイント高くなりました（表5-⑥）。インターネット受付利用率については、今年度は40.8%と、前年度に比べ8.2ポイントと大きく増加し、利用者数（120,938人）、利用率ともに過去最高となりました。

表5-⑥ 受付区分別

区分	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
郵送	175,580	135,781	77.3%	20,166	14.9%
インターネット	120,938	98,933	81.8%	21,305	21.5%

Ⅵ 正解番号及び合否判定基準

1 正解番号

正解番号は、都道府県ごとに合格発表日以降、原則として3日間、合格者受験番号・合否の判定基準と共に掲示しています。

また、機構のホームページ（<https://www.retio.or.jp>）には、合格者受験番号・正解番号・合否の判定基準を、合格発表日以降次年度の受験申込郵送締切日まで掲載しています。

2 合否判定基準

令和3年度の合否判定基準は、50問中「34問以上（10月試験及び12月試験）」としています。ただし、登録講習修了者（宅地建物取引業法第16条第3項の規定により試験の一部を免除された者）については、45問中「29問以上（10月試験のみ）」としています。

おわりに

令和3年度宅地建物取引士資格試験の問題と正解番号は、10月試験、12月試験ともに、上記のホームページに掲載しています。

なお、12月実施の試験の問題において、問44については、選択肢の2又は3を正解としています。複数解として取り扱う問題があり

ましたことをお詫び申し上げますとともに、
再発防止に努めてまいります。

今後とも適正かつ確実な試験実施と、良好
な受験環境の整備・確保につき、関係各位の
御協力をお願いする次第です。

令和3年度宅地建物取引士試験実施結果概要

1 受付総数

令和3年度	令和2年度	増(▲)減	増減率(%)	備 考
296,518	259,284	37,234	14.4	

2 各区分別

(単位：人、歳)

区 分	申込者	受験者	合格者	合格率(%)	備 考
全 体	296,518	234,714	41,471	17.7	
男 性	196,291	154,699	26,369	17.0	
女 性	100,227	80,015	15,102	18.9	
一般受験者	241,502	185,833	31,044	16.7	
男 性	161,030	123,497	20,189	16.3	
女 性	80,472	62,336	10,855	17.4	
登録講習修了者	55,016	48,881	10,427	21.3	
男 性	35,261	31,202	6,180	19.8	
女 性	19,755	17,679	4,247	24.0	
平均年齢	36.6	36.5	35.0	-	
男 性	37.3	37.2	35.5	-	
女 性	35.6	35.3	34.1	-	
年 代 別	20歳未満	6,455	5,475	681	12.4 ※最年少合格者：12歳・女
	20代	101,686	81,463	16,194	19.9
	30代	73,920	57,836	10,996	19.0
	40代	60,269	46,993	7,838	16.7
	50代	40,805	32,144	4,524	14.1
	60歳以上	13,383	10,803	1,238	11.5 ※最年長合格者：81歳・男
	[計]	296,518	234,714	41,471	17.7
職 業 別	不動産業	91,939	76,492	12,953	16.9
	金 融 業	31,944	24,283	4,742	19.5
	建 設 業	42,576	31,764	3,808	12.0
	他 業 種	68,682	52,600	10,088	19.2
	学 生	32,466	27,088	5,439	20.1
	主 婦	9,163	7,323	1,549	21.2
	そ の 他	19,748	15,164	2,892	19.1
	[計]	296,518	234,714	41,471	17.7
世 代 別	昭和生まれ	165,803	130,104	21,018	16.2
	平成生まれ	130,715	104,610	20,453	19.6
	[計]	296,518	234,714	41,471	17.7
受 付 別	郵 送 受 付	175,580	135,781	20,166	14.9
	ネ ッ ト 受 付	120,938	98,933	21,305	21.5 ※インターネット利用率：40.8%
	[計]	296,518	234,714	41,471	17.7
参 考	18歳未満	466	392	20	5.1
	団塊の世代	905	746	57	7.6

令和3年度宅地建物取引士資格試験結果【総括表】

		申込者（人）		前年度比		受験者 （人）	受験率 （％）	合格者 （人）	合格率 （％）
		令和3年度	令和2年度	増(▲) 減(人)	増(▲) 減率(%)				
北海道・東北	北海道	8,424	7,313	1,111	15.2	6,873	81.6	1,039	15.1
	青森	1,212	1,036	176	17.0	1,004	82.8	150	14.9
	岩手	1,513	1,360	153	11.3	1,201	79.4	171	14.2
	宮城	5,309	4,707	602	12.8	4,213	79.4	624	14.8
	秋田	963	788	175	22.2	758	78.7	107	14.1
	山形	1,103	1,008	95	9.4	899	81.5	152	16.9
	福島	2,549	2,402	147	6.1	2,079	81.6	289	13.9
北関東・甲信越	茨城	4,178	3,635	543	14.9	3,354	80.3	513	15.3
	栃木	2,971	2,488	483	19.4	2,377	80.0	349	14.7
	群馬	2,576	2,371	205	8.6	2,121	82.3	343	16.2
	新潟	2,678	2,420	258	10.7	2,158	80.6	346	16.0
	山梨	1,174	1,017	157	15.4	935	79.6	118	12.6
	長野	2,874	2,349	525	22.3	2,380	82.8	339	14.2
一都三県	埼玉県	19,989	17,464	2,525	14.5	15,703	78.6	2,748	17.5
	千葉県	16,886	14,722	2,164	14.7	13,023	77.1	2,615	20.1
	東京都	62,792	55,584	7,208	13.0	47,412	75.5	10,077	21.3
	神奈川県	26,891	23,789	3,102	13.0	21,637	80.5	3,769	17.4
北陸・東海	富山県	1,274	1,193	81	6.8	1,029	80.8	182	17.7
	石川県	1,932	1,687	245	14.5	1,563	80.9	287	18.4
	福井県	873	794	79	9.9	718	82.2	141	19.6
	岐阜県	2,905	2,519	386	15.3	2,361	81.3	400	16.9
	静岡県	6,159	5,420	739	13.6	5,042	81.9	793	15.7
	愛知県	16,333	14,049	2,284	16.3	13,033	79.8	2,344	18.0
	三重県	2,302	1,991	311	15.6	1,840	79.9	280	15.2
近畿	滋賀県	2,492	2,185	307	14.1	1,987	79.7	374	18.8
	京都府	6,582	5,375	1,207	22.5	5,271	80.1	891	16.9
	大阪府	26,630	22,842	3,788	16.6	21,209	79.6	3,711	17.5
	兵庫県	12,620	11,154	1,466	13.1	10,315	81.7	1,814	17.6
	奈良県	2,817	2,497	320	12.8	2,228	79.1	376	16.9
	和歌山県	1,219	1,019	200	19.6	1,006	82.5	159	15.8
中国・四国	鳥取県	555	524	31	5.9	455	82.0	95	20.9
	島根県	732	667	65	9.7	588	80.3	77	13.1
	岡山県	3,167	2,814	353	12.5	2,557	80.7	403	15.8
	広島県	5,512	4,831	681	14.1	4,391	79.7	777	17.7
	山口県	2,015	1,656	359	21.7	1,604	79.6	251	15.6
	徳島県	920	913	7	0.8	735	79.9	77	10.5
	香川県	1,680	1,483	197	13.3	1,344	80.0	249	18.5
	愛媛県	2,115	1,759	356	20.2	1,704	80.6	289	17.0
	高知県	795	765	30	3.9	644	81.0	102	15.8
九州・沖縄	福岡県	14,141	12,156	1,985	16.3	11,456	81.0	1,770	15.5
	佐賀県	1,239	1,089	150	13.8	968	78.1	133	13.7
	長崎県	1,740	1,509	231	15.3	1,438	82.6	220	15.3
	熊本県	3,148	2,719	429	15.8	2,553	81.1	392	15.4
	大分県	1,794	1,588	206	13.0	1,457	81.2	230	15.8
	宮崎県	1,343	1,176	167	14.2	1,091	81.2	146	13.4
	鹿児島県	2,522	2,314	208	9.0	2,037	80.8	265	13.0
	沖縄県	4,880	4,143	737	17.8	3,963	81.2	494	12.5
【合計】		296,518	259,284	37,234	14.4	234,714	79.2	41,471	17.7

令和3年度宅地建物取引士資格試験結果【内訳】

		一般受験者					登録講習修了者				
		申込者(人)	受験者(人)	受験率(%)	合格者(人)	合格率(%)	申込者(人)	受験者(人)	受験率(%)	合格者(人)	合格率(%)
北海道・東北	北海道	6,928	5,513	79.6	778	14.1	1,496	1,360	90.9	261	19.2
	青森	1,071	871	81.3	121	13.9	141	133	94.3	29	21.8
	岩手	1,259	967	76.8	130	13.4	254	234	92.1	41	17.5
	宮城	4,403	3,400	77.2	454	13.4	906	813	89.7	170	20.9
	秋田	805	611	75.9	81	13.3	158	147	93.0	26	17.7
	山形	926	738	79.7	112	15.2	177	161	91.0	40	24.8
	福島	2,138	1,699	79.5	224	13.2	411	380	92.5	65	17.1
北関東・甲信越	茨城	3,490	2,745	78.7	393	14.3	688	609	88.5	120	19.7
	栃木	2,518	1,978	78.6	257	13.0	453	399	88.1	92	23.1
	群馬	2,116	1,718	81.2	259	15.1	460	403	87.6	84	20.8
	新潟	2,336	1,842	78.9	286	15.5	342	316	92.4	60	19.0
	山梨	1,023	801	78.3	92	11.5	151	134	88.7	26	19.4
	長野	2,476	2,016	81.4	277	13.7	398	364	91.5	62	17.0
一都三県	埼玉県	15,866	12,059	76.0	1,983	16.4	4,123	3,644	88.4	765	21.0
	千葉県	13,693	10,231	74.7	2,037	19.9	3,193	2,792	87.4	578	20.7
	東京都	48,801	35,250	72.2	7,238	20.5	13,991	12,162	86.9	2,839	23.3
	神奈川県	21,019	16,414	78.1	2,663	16.2	5,872	5,223	88.9	1,106	21.2
北陸・東海	富山県	1,093	864	79.0	150	17.4	181	165	91.2	32	19.4
	石川県	1,619	1,273	78.6	222	17.4	313	290	92.7	65	22.4
	福井県	727	581	79.9	102	17.6	146	137	93.8	39	28.5
	岐阜県	2,515	2,009	79.9	335	16.7	390	352	90.3	65	18.5
	静岡県	5,325	4,313	81.0	633	14.7	834	729	87.4	160	21.9
	愛知県	13,500	10,482	77.6	1,791	17.1	2,833	2,551	90.0	553	21.7
	三重県	2,033	1,593	78.4	230	14.4	269	247	91.8	50	20.2
近畿	滋賀県	2,105	1,634	77.6	298	18.2	387	353	91.2	76	21.5
	京都府	5,585	4,390	78.6	695	15.8	997	881	88.4	196	22.2
	大阪府	21,330	16,457	77.2	2,750	16.7	5,300	4,752	89.7	961	20.2
	兵庫県	10,703	8,593	80.3	1,399	16.3	1,917	1,722	89.8	415	24.1
	奈良県	2,465	1,924	78.1	313	16.3	352	304	86.4	63	20.7
	和歌山県	1,063	864	81.3	142	16.4	156	142	91.0	17	12.0
中国・四国	鳥取県	494	398	80.6	80	20.1	61	57	93.4	15	26.3
	島根県	663	525	79.2	66	12.6	69	63	91.3	11	17.5
	岡山県	2,654	2,088	78.7	310	14.8	513	469	91.4	93	19.8
	広島県	4,622	3,578	77.4	633	17.7	890	813	91.3	144	17.7
	山口県	1,723	1,338	77.7	197	14.7	292	266	91.1	54	20.3
	徳島県	818	645	78.9	66	10.2	102	90	88.2	11	12.2
	香川県	1,451	1,140	78.6	196	17.2	229	204	89.1	53	26.0
	愛媛県	1,861	1,477	79.4	243	16.5	254	227	89.4	46	20.3
	高知県	673	533	79.2	81	15.2	122	111	91.0	21	18.9
九州・沖縄	福岡県	11,432	9,038	79.1	1,254	13.9	2,709	2,418	89.3	516	21.3
	佐賀県	1,047	798	76.2	103	12.9	192	170	88.5	30	17.6
	長崎県	1,502	1,220	81.2	174	14.3	238	218	91.6	46	21.1
	熊本県	2,640	2,092	79.2	297	14.2	508	461	90.7	95	20.6
	大分県	1,541	1,229	79.8	185	15.1	253	228	90.1	45	19.7
	宮崎県	1,137	907	79.8	112	12.3	206	184	89.3	34	18.5
	鹿児島県	2,188	1,733	79.2	211	12.2	334	304	91.0	54	17.8
	沖縄県	4,125	3,264	79.1	391	12.0	755	699	92.6	103	14.7
【合計】		241,502	185,833	76.9	31,044	16.7	55,016	48,881	88.8	10,427	21.3